



遍路道をたどって歩く参加者＝鳴門市大麻町松の極楽寺

遍路の魅力や歴史
親子で歩いて学ぶ

鳴門から上板

四国遍路の魅力や歴史などについて学ぶ親子遍路ウォーキング（NPO法人徳島共生塾一步会主催）が11日、鳴門市から上板町にかけてあり、県内の親子10組26人が参加した。

参加者は四国霊場1番札所・霊山寺（鳴門市大麻町）で公認先達からお遍路の作法などについて教わり、一緒に般若心経を唱えて出発。4番札所・大山寺（上板町神毛）までの約9キロを約3時間かけて歩いた。

長女叶愛さん（8）、次女星愛さん（7）と参加した徳

島市南昭和町7の主婦立石公子さん（4）は「長距離だったがけれど、地元の人が声を掛けてくれたおかげで最後まで歩き通せた。人の温かさを実感した」と話した。

ウォーキングは「四国八十八ヶ所霊場と遍路道」の世界遺産化を目指す同団体が、実現への機運を高めようと初めて行った。

（青木忍）

第27926号 (日刊)

2021年(令和3年)
12月12日
日曜日

徳島新聞

発行所 徳島市中徳島町2丁目
5番地2 (〒770-8572)
徳島新聞社
電話 (088) 655-7373
© 徳島新聞社 2021